

教科名		保健体育	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		東京書籍	大日本図書
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・1単位時間の流れが「見つける」「学習課題」「キーワード」「課題の解決」「本文・資料」「活用する」「広げる」を参考に知識・技能を習得し、これらを活用してより深く考え、自分の生活を振り返り調べる流れになっている。 ・巻末資料には、命や健康を守るためのスキルを育成するための資料が掲載されている。	・「学習のねらい」、「つかもう」として、自らの課題を発見し、主体的に資料から読み取ることができる流れになっている。また、キーワード欄があり、基礎・基本の確実な定着を図ることができるよう、配慮をしている。 ・「まどめの問題」がデジタルコンテンツで用意されている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・日常生活や既習事項を基に興味・関心を引き起こす「見つける」、資料を基に思考・判断・表現を促す「発問」、学習したことを生かし実践力を表現する「広げる」等のマークが記されている。 ・「巻末スキルブック」には、健康や安全に関する20の技能が「スキル」として、掲載されている。	・「話し合ってみよう」で視点を明確にし、協働的に課題解決を図ることができる。 ・各章末の「学びを活かそう」では、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・スポーツを通した多様な関わり合いや、心身の機能の発達における「個人差」、また「性の多様性」や「性に関する適切な態度」などを扱っている。 ・相手を尊重しつつ自分の意見を主張する「アサーション」の方法について紹介されている。	・オリンピック・パラリンピックの内容が充実しており、スポーツの意義や価値等の理解につなげられるように配置されている。 ・ストレスへの対処の技能について、代表的な腹式呼吸のほか、筋弛緩法など様々な方法を掲載している。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が入り入れられているか。	・口絵で「感染症」と「スポーツ」の視点からSDGsについて考える記載がある。 ・各章末に「学習のまとめ」として「日常生活に生かそう」「SDGsについて考えよう」の「QRコンテンツ(ワークシート)」が設けられている。	・UNICEFやJICA等の世界の人々の健康を支える取組が紹介されている。 ・健康と環境の章において、「環境問題への取り組み」についてのページがあり、食品廃棄物や環境汚染等を防ぐことについて記されている。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・見開き2ページで1時間単位の構成となっており、「タイトル」「見つける」「学習課題・キーワード」「課題の解決」「広げる」のレイアウトに一体感をもたせてある。 ・学びをサポートする「QRコンテンツ」が用意されている。	・「つかもう」「話し合ってみよう」「活用して深めよう」のステップを用いて、主体的に学習を進めることができようになっている。 ・学習のまとめ・まとめ問題を二次元コードで読み取り活用できる。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・運動やスポーツとの関わり、生涯スポーツの重要性が記されていることは、多摩市が目指す健幸都市と関わりがある。	・地域マークがあり、多摩市の状況や取り組んでいることを調べ、多摩市の実態を知るきっかけになる。

教科名		保健体育	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		発行者名 大修館書店	学研
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・各学習項目を「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」と3ステップ構成にすることで、内容を深める学習の流れになっている。 ・各章のまとめとして、知識・技能を確認するページが設定されている。	・「ウォームアップ」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ」「学びを生かす」と1単位時間の流れが課題をつかみ学習の見通しをもって、考えたり判断したり、知識を習得して学習をまとめていくような流れになっている。 ・各章のまとめに、章ごとに学んだキーワードが示されている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・各学習項目に「きょうの学習」という項目があり、話し合い活動等に活用できる。また、各学習項目最後の「学習のまとめ」は多様な表現活動を提示し、言語活動やグループでの対話等を通して、思考力・判断力・表現力等を育むように配置されている。 ・「コラム」や「実例」では、学んだ知識を実生活に生かせるように、薬物の危険性や「AEDの重要性」など、生活に関連した情報を提供する読み物が掲載されている。	・「ウォームアップ」として、学習の始めに課題に関連した身近な話題を取り上げることで、課題に気付くように配慮されている。「エクササイズ」では、学習内容に関連した課題に取り組むことで、思考力や判断力、表現力等を養うように配慮されている。 ・「協働」のマークが示され、教え合い、学び合う活動ができるように配慮されている。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・性に関する「個人差」や「性の尊重」等について記されている。また、思春期に多い精神疾患について取り上げている。 ・新型コロナウイルス「感染症」を取り上げ、感染症予防について学習するページが配置されている。	・「性の多様性」について考える資料が掲載されている。また、「心と体のSOS」として、いじめについて考える問いが設けられている。さらには、相談窓口が紹介されている。 ・保健体育の学びが現代的な課題「ウェルビーイング」の実現につながるよう資料が精選されている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・巻頭のイラストレーションにおいて、「共生社会をつくるために」「よりよい未来に向けて」と共生社会の実現やSDGsについて紹介されている。 ・章とびら、環境の項目で、持続可能な社会に向けた取組が紹介されている。	・巻末に「共に生きる社会 人類と地球の未来のために」として、7つの視点が示されている。そこにおいて、「持続可能な社会をつくるために」「できることを考え、一步を踏み出そう」があり、関連するページが紹介されている。
B 使用上の便宜について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・「つかむ」「きょうの学習・キーワード」「学習のまとめ」のステップで、主体的に学習を進めるようになっている。章のまとめでは「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点ごとに、その章で学習したことを確認できるよう工夫されている。 ・ページの見開き右下に「保体クイズにトライ!」の二次元コードが設けられ、学習した内容をクイズ形式で振り返り、確認することができる。	・「ウォームアップ:課題の発見」「エクササイズ:課題の解決」「学びを生かす:学びの活用」のステップで、主体的に学習を進めることができる。「章のまとめ」では、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」の観点で章を振り返ることができる。 ・章デジ(二次元コード)が充実しており、関連リンクなどにアクセスすることができる。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・運動やスポーツとの関わり、生涯スポーツの重要性が記されていることは、多摩市が目指す健康都市と関わりがある。	・「課題学習の整理の仕方」が示され、探究的な学習を進めることができるように配慮されている。また、各章の最後には、「探究しよう!」が設けられ、学習内容に沿った探究的な学習を充実させられるように配慮されているなど、多摩市のESDに即しているものになっている。